

医学教育の今!

新コーナー「医学教育の今!」の開始にあたり

泉 美貴 昭和大学医学部 医学教育学講座

皆さんは、大学時代の教育についてどのような記憶をお持ちでしょうか? 学生に向けて、「大学で学んだことは、社会ではあまり役に立たない。卒業してから本番だ」と言ってしまうことはありませんか? 実は、私自身もかつてはそう感じていました。学生時代は卓球部の活動に打ち込み、医学生の大大会で優勝することに夢中でした。しかし、卒業後に待っていたのは、大学で学んだ知識とは異なる現実の「業務」でした。私はそのギャップに直面し、「これまでの大学教育は何だったのか?」と戸惑い、立ち尽くしたのを覚えています。

つまり、学生時代の教育は、知識や理論を学ぶ場であり、医療現場で即戦力となる「実務能力」を鍛える場ではなかったのです。しかし、近年では医学教育が大きく変わりつつあります。「モデル・コア・カリキュラム」によって全国的に教育内容の標準化が進められ、医学教育が国際基準(グローバルスタンダード)に基づいて評価されるようになりました。また、臨床研修制度や専門医制度が整備され、卒業後の教育も改革がなされています。

皆さんがかつて経験された医学教育(医師養成教育)は、ここ数年で劇的に進化を遂げているのです。新コーナー「医学教育の今!」では、こうした医学教育に関する最新の情報をお届けし、大情報化時代に求められる医療者の姿を、医学教育の視点から考えていきたいと思います。

このコーナーでは、筆者が厳選した一流の教育者をお招きし、要旨を冒頭に記載して、本文は見開き1頁ほどにまとめることにより、医師以外の方々にも気軽に読んでいただける内容にしました。

きっとあなたは、医学教育の変革に驚かれることでしょう。

どうぞご期待ください!